令和６年８月１９日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

令和６年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会“大人のオープンキャンパス”開催について（ご案内）

帯広畜産大学では、研究開発活動を紹介すると同時に交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を推進するため、下記のとおり、令和６年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会“大人のオープンキャンパス”を開催いたします。

つきましては、周知および当日の取材について、よろしくお願いいたします。

記

【テーマ】気候変動と十勝の農作物
【日時・場所】令和 6 年 9 月 6 日（金）
第 1 部：13:30～14:30　研究室訪問（集合：13:00）
第２部：15:00～17:30　帯広畜産大学 講堂/オンライン配信（会場 14:30）
第３部：17:45～19:15　帯広畜産大学 生協前広場（雨天：かしわプラザ）
【参加費】無料（第 1 部・第 2 部）、3,000 円（第 3 部）

【第１部：研究室訪問】＊企業等集積プラットフォーム参画機関の方限定です。
①　春日研究室
②　共同利用設備ステーション
③　川島研究室＋畜産フィールド科学センター新牛舎

【第２部：講演会プログラム】
●開 会 挨 拶　帯広畜産大学長　長澤　秀行
●基 調 講 演　北海道における気候変動の状況と今後の農作物生産
農研機構　北海道農業研究センター　上級研究員　下田　星児
●大 学 講 演 1　スペルト小麦の硬い穀皮を持つ病気や雨に強い品種の開発
帯広畜産大学　環境農学研究部門　　教授　大西　一光
―休憩―
●大 学 講 演 2　これからの北海道で何を育てていけるのか
～気象変動化における新規作物導入の可能性～
帯広畜産大学　環境農学研究部門　　准教授　秋本　正博

●新任教員紹介　家畜伝染病に関するこれまでの取組みと最近のトピック
帯広畜産大学　獣医学研究部門　　教授　山田　学
作物・雑草種子の眠りと目覚めのコントロール
帯広畜産大学　環境農学研究部門　　准教授　中林　一美
●閉 会 挨 拶　帯広畜産大学　産学連携センター長　岡田　繁

【第３部：情報交換会】＊会費：3,000 円
●情報交換会　野外バーベキュー、Beer Meeting、畜大屋台

【主　催】帯広畜産大学
【共　催】とかち財団
【後　援】帯広市

【申込方法】＊事前登録制です。
産学連携センターホームパージの申込フォーム、またはチラシ裏面の申込書にて、
８月３０日(金)までにお申し込みください。
申し込みフォーム：https://forms.gle/ZgxVHxfmEkE4KjhH6

【お問い合わせ先】
帯広畜産大学 産学連携センター（担当：東・髙橋・輿水）
TEL 0155-49-5771
E-mail：crcenter@obihiro.ac.jp

令和6年度 産学官金連携交流会

大人のオープンキャンパス　～気候変動と十勝の農作物～

帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

参加費
第1部：無料
第2部：無料
第3部：3,000円

9/6(金)

帯広畜産大学 講堂
&
オンライン配信（第2部のみ）

第1部	13:30～14:30 (集合 13:00)	研究室訪問
	会場：帯広畜産大学 講堂集合、各研究室	＊第1部は、企業等集積プラットフォーム参画機関の希望者限定です。
第2部	15:00～17:30 (開場 14:30)	講演会
	会場：帯広畜産大学 講堂 & オンライン配信（Zoom）	
第3部	17:45～19:15	情報交換会
	会場：帯広畜産大学 生協前広場（雨天時：かしわプラザ）	
対象	地域の中小企業・団体等の産学官金関係者、学生など	
参加申込	申込みフォームまたは裏面の参加申込書にてお申し込みください。 〆切：8/30 (金)　https://forms.gle/ZgxVHxfmEkE4KjhH6	

第1部 研究室訪問

＊第1部は、企業等集積プラットフォーム参画機関限定です。
参加希望の方でまだプラットフォームへ登録されていない場合は、HPよりお申し込みください。

13:30 訪問先（詳細は裏面をご覧ください。）各研究室定員：5名

① 春日研究室	グローバルアグロメディシン研究センター　准教授	春日　純
② 共同利用設備ステーション	産学連携センター共同利用設備ステーション長	得字　圭彦
③ 川島研究室 ＋ 畜産フィールド科学センター新牛舎	畜産フィールド科学センター　教授	川島　千帆

14:30

第2部 講演会プログラム

15:00	開会挨拶	帯広畜産大学長　長澤　秀行	
15:10	基調講演		
	■北海道における気候変動の状況と今後の農作物生産	農研機構北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域　上級研究員	下田　星児
15:55	大学講演		
	■スペルト小麦の硬い穀皮を持つ病気や雨に強い品種の開発	環境農学研究部門　教授	大西　一光
-休憩-			
	■これからの北海道で何を育てていけるのか ～気象変動化における新規作物導入の可能性～	環境農学研究部門　准教授	秋本　正博
16:55	新任教員紹介		
	■家畜伝染病に関するこれまでの取組みと最近のトピック	獣医学研究部門　教授	山田　学
	■作物・雑草種子の眠りと目覚めのコントロール	環境農学研究部門　准教授	中林　一美
17:25	閉会挨拶	産学連携センター長　岡田　繁	

第3部 情報交換会

17:45 BBQ, Beer Meeting & 畜大屋台

【主催】北海道国立大学機構 帯広畜産大学　【共催】とかち財団　【後援】帯広市

お問合わせ先 帯広畜産大学産学連携センター Email : crcenter@obihiro.ac.jp / TEL : 0155-49-5771 https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/

2024年9月6日（金）

締切：**8月30日（金）**

帯広畜産大学 産学官金連携交流会 参加申込書

必要事項をご記入のうえ
メールまたはFAXにてご送付ください。

E-mail：crcenter@obihiro.ac.jp
FAX ：0155-49-5775

お名前（必須）	
ご所属・役職等	
電話番号　（必須）	
メールアドレス　（必須）	
申し込み内容 **ご参加を希望されるものに☑を入れてください。**	□　**第1部：研究室訪問**（＊企業等集積プラットフォーム参画機関限定） 訪問を希望する研究室　＊下記①～③よりお選びください。 第１希望（　　）　第２希望（　　） 訪問を希望する理由 （　　） □　**第2部：講演会** 参加方法　（ □現地　・　□オンライン ） ＊オンラインの参加方法については別途ご案内いたします。 □　**第3部：情報交換会（BBQ）　＊会費：3,000円** ＊第3部の会費に残金が生じた場合は、帯広畜産大学の産学連携活動のために寄附させていただきますので、予めご了承ください。 ＊会費は、当日受付にて現金でのお支払いをお願いします。

【第1部：研究室訪問について】（ ＊企業等集積プラットフォーム参画機関の希望者限定です。）

研究室訪問に参加をご希望される方は、下記の①～③からご希望の研究室をお選びください。
各施設の定員は５名ですが、希望者多数の場合は抽選いたします。
訪問場所が決まりましたら、**9月３日（火）まで**にメールでお知らせいたします。

＊具体的に本学との共同研究等を検討している方を優先させていただきます。
＊企業等集積プラットフォームへまだ参画されていない方は、HP（http://univ.obihiro.ac.jp/~platform/tp_detail.php?c=join）よりお申し込みください。

①春日研究室

「ブドウの越冬メカニズムを明らかにする」

北海道のような寒冷な地域で栽培されているブドウは、秋から冬にかけてしばしば凍霜害を受けます。しかし、この凍霜害がどのように発生するのか、凍霜害を受けやすい品種と受けにくい品種で何が異なるのかなど、未だ明らかになっていないことも多いです。我々は、池田町で作出され、2020年から国際ブドウ・ワイン機構の品種リストにも登録された'山幸'という高耐寒性品種を用いて、ブドウで起こる凍霜害の発生機構やブドウの樹の耐寒性の季節変化のメカニズムなどを明らかにするべく、現在、研究を進めています。

②共同利用設備ステーション

「大学の研究力向上と産官学連携の技術的基盤として」

共同利用設備ステーションは、本学のすべての研究者や学生が利用できる共用研究機器の運用や整備等のマネジメントを行ない、研究力向上のための環境づくりに努めています。また、研究機器の利用を促進するための説明会やセミナーも開催しています。本ステーションが管理する共用研究機器は学外の企業や公設試の研究者にも開放しています。機器の共同利用や共同研究を通して人材交流を促し、地域の産学官連携による新たな知の創出の場となることを目指しています。おもな研究機器は、次世代シークエンサー、リアルタイムPCR、セルソーター、質量分析器（LC-MS、CE-MS）、元素分析装置、アミノ酸分析機、蛍光顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡などです。

③川島研究室＋畜産フィールド科学センター新牛舎

「妊娠期の栄養管理改善から健康な子牛を」

乳牛は泌乳期に妊娠する珍しい動物です。また、乳牛に肉牛の精液や受精卵を用いることが日常的に行われており、母子の品種が異なることは珍しくありません。しかし、乳牛の栄養は妊娠の有無や胎子の品種に関わらず、乳生産を中心に考えられています。そこで、子牛の潜在的な健康や繁殖性に影響を及ぼす妊娠期の母牛の栄養に関する研究を行っています。今回は、その研究フィールドである畜産フィールド科学センターの新牛舎をご案内しながら、現在の研究やこれからの展開についてご紹介します。

＊1週間以内に海外渡航歴のある方のご入場は、防疫上の観点からお控えいただいております。当日、他の農場へ訪問された方は、シャワーをお済ませの上ご来場ください。

【帯広畜産大学 会場案内図】

参加費

第１部：研究室訪問　無料
第２部：講演会　無料
第３部：情報交換会　3,000円

【個人情報の取り扱いについて】

1. 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
2. お申込み時にお知らせいただいた個人情報については、本交流会の運営、本学の産学連携活動を行うためにのみ利用します。
3. 講演等をより効果的にするために、講演者へ所属機関・役職・氏名の情報を提供することがあります。